

幼稚園だより

6月号

令和5年 5月31日

荒川区立花の木幼稚園

園長 岩崎 昇

【私の子ども観】



子どもはダイヤモンド

恩を感じる人に

園長 岩崎 昇

早いもので、1学期も折り返し地点に差しかかりました。入園したてと思っていた3歳児もすくすくと成長し、幼稚園にも慣れてきました。保育室では落ち着いて遊んだり、園庭で駆けまわったりしています。

現在、どのクラスの子どもたちも、お家の人への感謝の気持ちを作品作りに込め、製作中です。それを今年度から、園児の保育状況を考慮し土曜日の実施とした保育参観でお渡しします。幼稚園では、人の恩を感じることができる人に成長してほしいと願い、このような取り組みを行っています。恩を感じることでできる人は、感謝できる人、人の気持ちのわかる人、優しい心を持てる人だと考えます。

また、先週には夏野菜の栽培を始めました。野菜嫌いの人が自分の育てた野菜を食べることができるようになった、という話を聞いたことがあります。そして、栽培活動は豊かな心を育てるための大切な活動です。大きくなあれとの願いを込め、水やりを行っています。

野菜の栽培が進んでくると、もう水遊びの季節です。熱中症にも十分気をつけながら、保育を進めてまいります。

今月の保育のねらい

《3歳児：ひよこ組》

- ・教師や友達と一緒に、好きな遊びを十分に楽しむ。
- ・水や泥の感触に親しみ、心地よさを知る。

《4歳児：こあら組》

- ・友達との関わりを楽しみながら、いろいろなことに興味をもって遊ぶ。
- ・水遊びやプール遊びに参加し、水に親しんだり、開放感を味わったりする。

《5歳児：いるか組》

- ・思ったことや考えたことを出し合いながら、友達との遊びを進める楽しさを味わう。
- ・梅雨の自然に興味や関心をもち、調べたり考えてみたりしようとする。

